

## 第 6 回 CT デスク会議報告

遠友 ser 会 代表世話人 笹木 工

第 6 回 CT デスク会議は、本年 1 月 19 日に国立ガン研究センターで 9 時より開始されました。このデスク会議の目的は、次期装置の開発につながるような要望事例数を増やして議論することです。アンケートの収集方法、回答フォーマットの統一や会議前に議題内容を参加者に提示したりすることが、我々とキャノン双方にとって有益です。そこで今回は今までの課題を踏まえて、キャノンは、正確な回答を用意するために正確な情報を収集するために、フォーマットを統一し、SBAR（エスバー）方式を採用しました。この SBAR 方式というのは、Situation（状況）、Background（背景）、Assessment（評価）、Recommendation（提案）の頭文字をとったものです。装置名や Version 情報を記載、要望の背景を記載し、より深く状況を理解するように努めたとのこと。ちなみに、この SBAR 方式というのは米国の海軍の潜水艦で用いられていた情報伝達の方法だそうです。

全国から回収されたアンケートから 439 件の要望事項がありました。これらを全て検討することは時間的な制約もあり極めて困難です。各地区から出された要望は、各地区の世話人で 1 位から 3 位までの優先順位をつけました。その結果を各地区の意見としてキャノンに送付し、全国から集められたものを再度検討し、優先順位 1 位になった 42 件の項目について、デスク会議にて討論を行いました。ここで優先順位のつけ方ですが、1 位は、「社会的にも影響があり重要な項目」。2 位は、「1 位ほど重要ではない。書面のみでも回答が許容できる項目」。3 位は、「以前のデスク会議で議論が済んでいるもの、または施設個別の要望で一般的ではないもの」という区分です。

ここで、当日議論された要望事項の一部を紹介します。

北海道からの要望で、優先順位 1 位とされた内容です。画像処理関連の内容で、「MPR のアキシャルを作成するときに、開始・終了の新第一の値を入力して作成できるようにしてほしい。」という要望がありました。MPR を作成する

と、小数点以下の端数の数値が表示され、通常のアキシャルとの寝台位置が揃わず、PACS での比較読影をする場合に困難であるということです。MPR を多用する施設では、端数の数値が出ることを不思議に思っていた方や困っている方が多いのではないのでしょうか？この件に関しては、次期システムで検討するという回答でした。

SEMAR に関連する要望では、東北、中部、沖縄地区から、SEMAR 処理を行なった場合に SEMAR 処理された画像を先に出力することはできないだろうかという要望が出されました。ご存知の方も多いと思いますが、現行では SEMAR 処理 off の画像が先に出力され、その後に SEMAR 処理 on の画像ができます。この順番を逆にしたいということです。実を言いますと SEMAR がデビューした当初は最初に SEMAR 処理画像が出力されておりました。なぜ変更したのかというと、処理速度の観点から SEMAR off の画像を先に出すことにしたそうです。今後設定変更を検討するという回答でした。

撮影時の動作（ワークフロー）の要望で、寝台移動に関する要望がありました。「寝台移動 500mm ごとにポップアップが出て寝台移動のボタンを押させる仕様をやめて欲しい。一度で済ませて欲しい。600mm を超えるスキャンがありますというポップアップを無くして欲しい」というものでした。これは、キヤノン CT「あるある」ですね。（笑）開発側からは他社の状況を知りたいということでしたが、これは過去の会議でも議論されたことです。内容を引き継がれていないのか共有できていないか不明ですが、少し残念に思いました。何れにしても他社では 500mm 以上の移動にポップアップが出てくることはありません。対応していただけることを願います。

小児心臓を撮影する際の固定具に関する要望を紹介します。「小児心臓撮影で腕と体幹部を固定したい。特に腕を挙上させた状態にしたい。以前デスク会議で検討されていた固定具はどうなったのか？ 試作品でも構わないのですぐに使いたい」という要望について、キヤノンからの回答は「開発が完了し、製品化に向けて準備中である」という回答を得ました。

小児というより殆ど「新生児」と言っても差し支えない年齢（月齢…いや日齢か…）が撮影対象です。生まれたその日に撮影ということも珍しいことではありません。そのために 80kV での撮影を行います。腕が挙上されていないと肘がまがった状態となり、撮影範囲内に上腕骨と前腕骨が存在してしまいます。artifact の原因になるのでとてもジャマなのです。小児科の先生に腕を引っ張っ

でもらうことで対応しておりますが、きちんと「バンザイ」をした状態で、なおかつ舌根沈下しないようにしてしっかり固定して撮影したいんです！キレイに心臓を撮りたいのです！！ もうお気づきかと思いますが、私が出した要望でした。まもなく製品になるということなので、これ以上騒がずおとなしくしておきます。

これらのように、みなさまからいただいた要望は、開発者も含めて検討しておりますので、今後ユーザー会等で伺う機会がありましたら、忌憚のないご意見のご記入をお願いいたします。

小児固定具が使えるのが早いのか、コロナの収束が早いかどちらでしょう？  
どちらも早い方がいいですね。